



日邦産業株式会社

(証券コード : 9913)

2022年3月期 第3四半期 決算補足資料

2022年 2月4日

代表取締役社長

岩佐 恭知

22/3期 3Q 連結業績 (1)

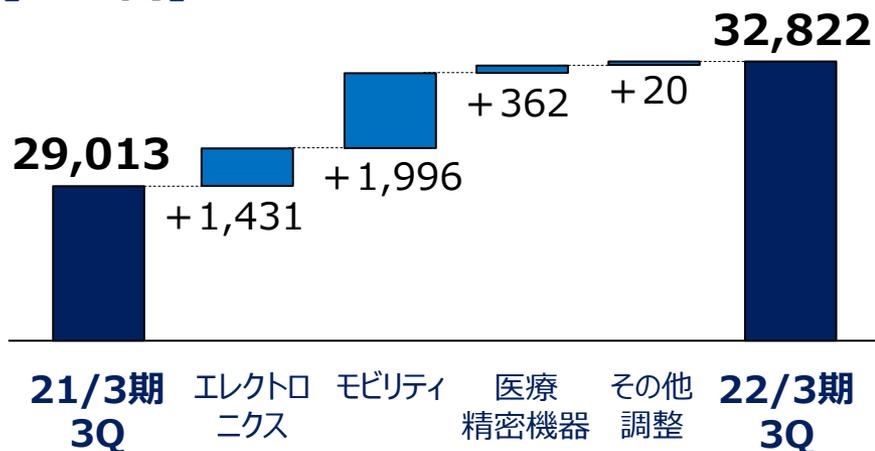


(単位：百万円)

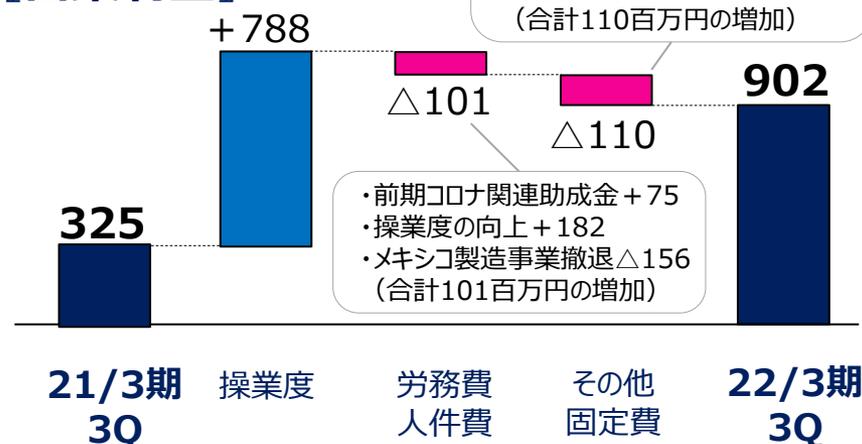
科目	21/3期 3Q	22/3期 3Q	前年同期比	増減額
売上高	29,013	※ 26,354 32,822	- 113%	- +3,809
営業利益	325	902	278%	+577
経常利益	169	983	582%	+814
四半期純利益	△598	732	-	+1,330

※「収益認識に関する会計基準（以下「収益認識会計基準」）」等を当会計年度より適用しております。売上高の下段および下記グラフの売上高は、前年比較のご参考として収益認識会計基準適用前の売上高を記載しております。

〔売上高〕



〔営業利益〕



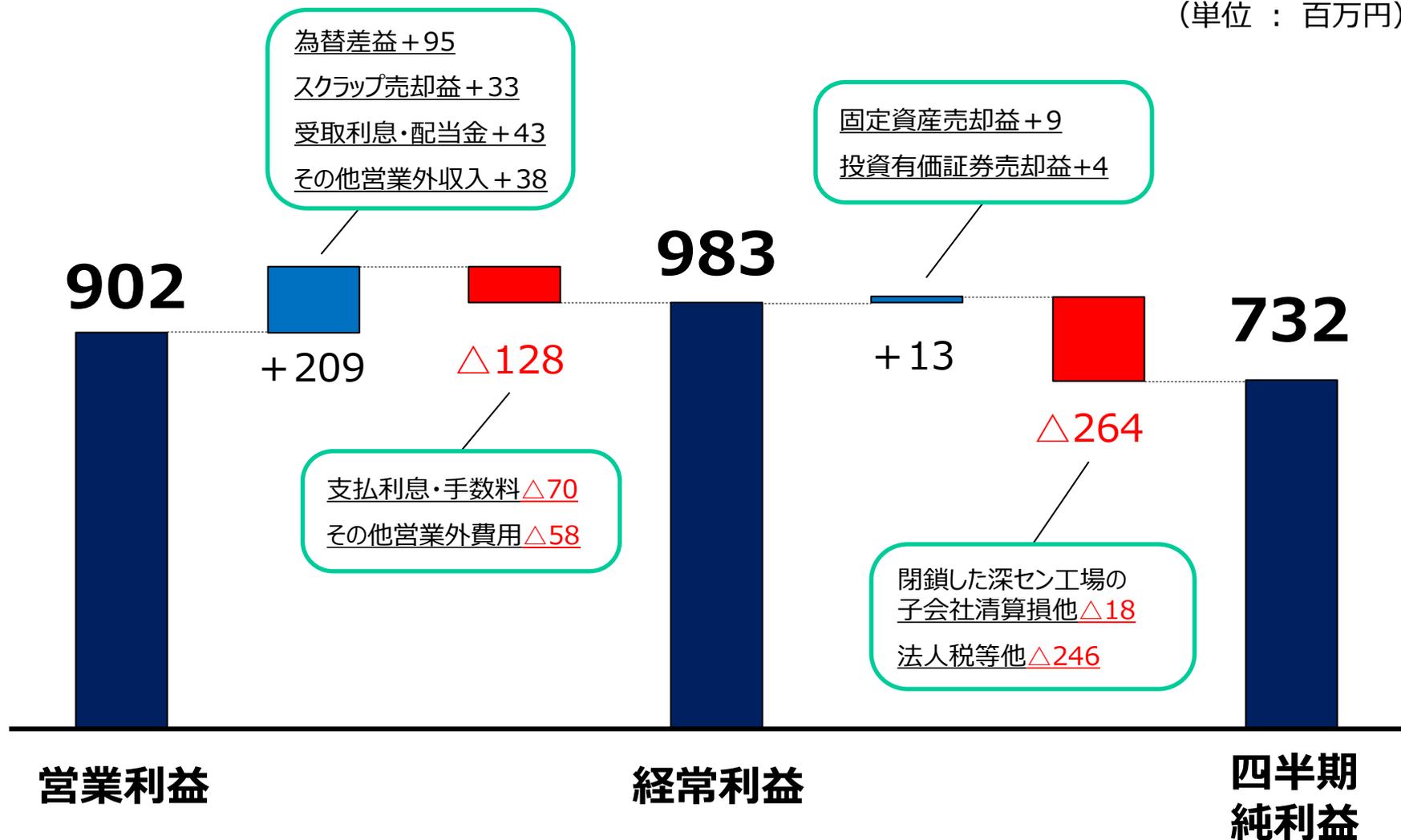
- ・物流費 +81
- ・動力費、工場消耗品費 +40
- ・減価償却費 △132
- ・活動経費他 +121
- (合計110百万円の増加)

- ・前期コロナ関連助成金 +75
- ・操業度の向上 +182
- ・メキシコ製造事業撤退 △156
- (合計101百万円の増加)

22/3期 3Q 連結業績 (2)



(単位：百万円)



22/3期 通期業績予想



～「半導体・電子部品の供給不足」による業績影響を正しく予測することが難しいため、通期業績予想値を据え置く判断をしました。～

(単位：百万円)

科目	22/3期 3Q累計	22/3期 通期予想	22/3期 3Q進捗率	通期業績予想と年間配当金について
売上高	26,354	35,000	75.3%	1. 通期業績予想 3Qは、新型コロナウイルスの感染拡大による各国での活動制限がなされた一方で、顧客の旺盛な需要に応えるためのリカバリー生産が進められましたが、「半導体・電子部品の供給不足」という世界的課題がその勢いを鈍化させる中で推移しました。3Qまでの進捗率は計画を上回り推移しておりますが、「半導体・電子部品の供給不足」が、4Q業績に及ぼす影響を正しく予測することが難しいため、2021年5月14日に公表しました通期業績予想値を据え置いております。 2. 年間配当予想 通期業績予想を据え置くことから、年間配当金「1株=20円」につきましても、据え置いております。
営業利益	902	1,200	75.2%	
経常利益	983	1,130	87.0%	
当期純利益	732	800	91.5%	
年間配当金	—	20円		



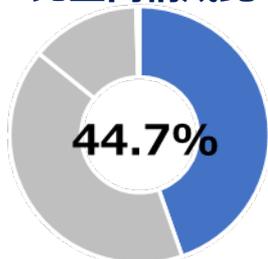
※本通期業績予想値は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいた予想値であり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想値と異なる結果となる可能性があります。通期業績予想の見通しに修正が必要と判断される場合は、改めて公表させていただきます。

セグメント別業績（エレクトロニクス）



売上高構成比

※セグメント別業績の売上高は、収益認識会計基準適用前の売上高を記載しております。（単位：百万円）



増収

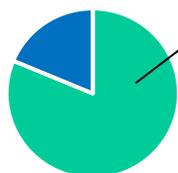
増益

	21/3期 3Q累計	22/3期 3Q累計	前年同期比	増減額
売上高	13,333	14,764	111%	+1,431
営業利益	814	967	119%	+153

3Qの業績概況

- 自動車、家電、電子機器向けの「半導体・電子部品の供給不足」を受け、各電子部品メーカーの増産が続いている。これに伴い、スマートフォン関連部材や半導体材料の受注と、ウエハ研磨用キャリア事業の受注が堅調に推移。
- 一方、ベトナム工場のドライフィルム事業は、スマートフォン関連の完成品メーカーが、「半導体・電子部品の供給不足」の影響を受け、生産計画に遅れが生じたことにより受注が減少。

売上高の進捗



	21/3期	22/3期(見通し)	前年比	増減額
売上高	18,268	18,600	102%	+332
営業利益	1,046	1,200	115%	+154

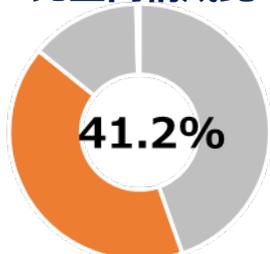
通期の見通し

- スマートフォン関連部材や半導体材料の受注は、引き続き堅調に推移する見通し。
- 汎用配線板材料の受注は段階的に減少していくが、ハイエンド向けの配線板材料の受注増加でカバーできる見通し。
- ベトナム工場のドライフィルム事業の受注は3Q半ばより回復に転じているが、2Qまでの減少をカバーするには至らない見通し。

セグメント別業績（モビリティ）

売上高構成比

※セグメント別業績の売上高は、収益認識会計基準適用前の売上高を記載しております。（単位：百万円）



増収

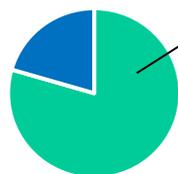
増益

	21/3期 3Q累計	22/3期 3Q累計	前年同期比	増減額
売上高	11,620	13,616	117%	+1,996
営業利益	270	750	278%	+480

3Qの業績概況

- アセアン主力工場の車載部品や稲沢工場のコイル部品は、主要顧客のリカバリー生産計画が「半導体・電子部品の供給不足」の影響により鈍化したものの、前年同期と比べて大きく回復し、受注が増加。
- あわせて、メキシコ製造事業撤退に伴う業績改善も相まって好調に推移。

売上高の進捗



3Q進捗
77.8%

	21/3期	22/3期(見通し)	前年比	増減額
売上高	15,963	17,500	110%	+1,537
営業利益	485	950	196%	+465

通期の見通し

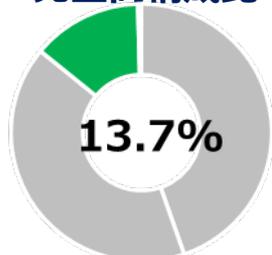
- 主要顧客の生産計画は、引き続きリカバリー計画が織り込まれているものの、自動車用の「半導体・電子部品の供給不足」による生産計画の下方修正等の懸念が継続する。
- あわせて、輸送船舶とコンテナ不足による物流コストの上昇の懸念も継続し、先行きが不透明な状況が続くが、通期の見通しは達成できる見通し。

セグメント別業績（医療・精密機器）



売上高構成比

※セグメント別業績の売上高は、収益認識会計基準適用前の売上高を記載しております。（単位：百万円）



増収

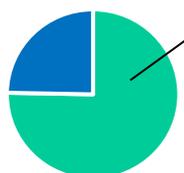
増益

	21/3期 3Q累計	22/3期 3Q累計	前年同期比	増減額
売上高	4,150	4,512	109%	+362
営業利益	△89	△46	—	+43

3Qの業績概況

- 医療機器部品の受注は、タイ（コラート）工場における受託生産が堅調に推移。
- プリンター関連部品の受注は、顧客によるリカバリー生産による回復局面に移行したものの、「半導体・電子部品の供給不足」により、他のセグメントと比べてその勢いは鈍い。
- 受注の回復が進んだものの、新型コロナウイルスの感染拡大による2Qまでのプリンター関連部品の減産影響（特にベトナム工場）をカバーするに至らず、営業赤字が継続。

売上高の進捗



	21/3期	22/3期(見通し)	前年比	増減額
売上高	5,877	6,000	102%	+123
営業利益	△43	+0	—	+43

通期の見通し

- タイ（コラート）工場とフィリピン工場のプリンター関連部品の受注は、コロナ前の水準まで戻つつあるが、ベトナム工場の受注は、「半導体・電子部品の供給不足」の影響を受け、先行きが不透明な状況が継続する見通し。
- タイ（コラート工場）の医療機器部品の受注は、引き続き堅調に推移する見通し。



参考資料

22/3期 3Q 連結貸借対照表



(単位：百万円)

科目	21/3期	22/3期 3Q	増減額
流動資産	13,727	15,337	+1,610
現預金	2,940	3,940	+1,000
受取手形及び 売掛金等	7,810	7,774	△35
たな卸資産	2,460	2,875	+415
その他	517	746	+230
固定資産	10,977	10,102	△875
有形固定資産	8,239	7,281	△958
無形固定資産	121	109	△11
投資その他の 資産	2,616	2,710	+93
資産合計	24,705	25,439	+734

科目	21/3期	22/3期 3Q	増減額
流動負債	12,549	12,436	△113
支払手形及び 買掛金	7,596	7,848	252
短期借入金等	2,258	2,497	238
その他	2,695	2,090	△603
固定負債	3,159	3,175	+16
長期借入金	515	516	+1
その他	2,644	2,658	+15
負債合計	15,708	15,612	△96
資本金	3,137	3,137	-
資本剰余金、利益剰 余金及び自己株式	5,587	6,227	+641
その他の包括利益 累計額	270	460	+189
非支配株主持分	1	1	△0
純資産合計	8,996	9,827	+831
負債・純資産合計	24,705	25,439	+734

日邦産業株式会社

経営企画部 水口、藤浪

電話 : 052-218-3161
E-Mail : ir@nip.co.jp
HPアドレス : <https://www.nip.co.jp/>

将来見通しに関する注意事項

本資料につきましては投資家の皆様への情報提供のみを目的としたものであり、売買の勧誘を目的としたものではありません。本資料における将来予想に関する記述につきましては、目標や予測に基づいており、確約や保障を与えるものではありません。また、将来における弊社の業績が、現在の弊社の将来予想と異なる結果になることがある点を認識された上で、ご利用ください。また、業績等に関する記述につきましても、信頼できるとされる各種データに基づいて作成されていますが、弊社はその正確性、安全性を保証するものではありません。本資料は、投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、お客様ご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、弊社はいかなる場合においてもその責任を負いません。

なお、本業績見通しにおける為替レートは、1米ドル=105円、1タイバーツ=3.5円で計算しています。